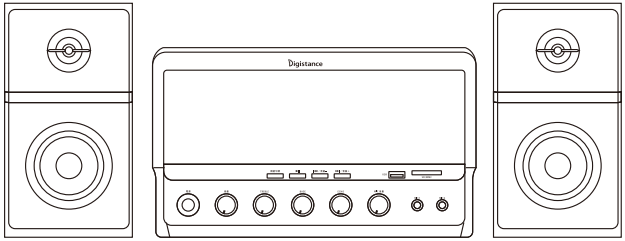
2.1CH SPEAKER UNIT

2.1ch　スピーカーセット

DS-HT116BK



取扱説明書

本製品の使用にあたり、ご注意頂きたい事項

挿入メディア内のデータ再生について

本製品は SD/MMC 及び USB メモリに入れたデータの再生が可能です。音声ファイル（拡張子 .mp3）にのみ対応しています。その他のファイルが混入したメディアを挿入すると認識エラーや動作上の不具合を招きますのでご注意ください。

目次

はじめに ―― P02

1. 各部名称 ―― P04
本体ボタン機能や端子名、リモコン等のご紹介

2. 接続 ―― P07
電源ケーブルやスピーカーの接続のご紹介

3. 挿入メディアの音楽を聴く ―― P08
SD/MMC や USB メモリを挿入した音楽再生のご紹介

4. 接続したオーディオプレーヤーの音楽を聴く ―― P10
外部機器をつないだ使用法のご紹介

5.DVD プレーヤー等の音声を出力する ―― P11
外部機器をつないだ使用法のご紹介

6. 故障かな？　と思ったら ―― P12
不具合時の対処法

製品仕様 ―― P16

お問い合わせ ―― P16

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読み頂き、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう大切に保管してください。

セット内容

以下のものが入っているかをよく確認してください。不足品がありましたら、弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

- アンプ内蔵ウーファー
- スピーカー× 2
- リモコン
- オーディオケーブル（3.5mm ピン～ RCA ピンオーディオケーブル× 1、RCA ピンオーディオケーブル× 1）
- 取扱説明書
- 保証書

ご使用上の注意

- 修理や分解をしないでください。高電圧部品もあり大変危険です。また、強い力をかけたり重い物を置いたりしないでください。
- 風呂場や台所等、水気のかかる場所や湿度の高い場所で使用しないでください。また、濡れた手で触れないでください。水気によるショートや感電のおそれがあります。
- 本書に従い、正しく配線を行ってください。故障や損傷、あるいは身体に危険が及ぶおそれがあります。
- お手入れをする場合は必ず電源を切り、電源ケーブルを外してください。乾いた柔らかい布で手入れを行い、揮発溶剤等は使用しないでください。
- 不安定な場所、ホコリの多い場所、高温多湿な場所、通気の悪い場所、直射日光にあたる場所に置き去りにしないでください。また、車内への置き去りもご遠慮ください。
- マイクやメディア、デジタルメディアプレーヤー等のその他外部機器を着脱する際は音量を最小にしてください。

メディアの挿入、電源接続時の注意

- 挿入が可能なメディアは SD/MMC と USB メモリです。これ以外の異物の挿入は機器の故障につながりますので、絶対におやめください。
- メディアを接続する場合は、接触端子部の向きを確認した上で挿入してください。間違った向きやズレた位置で無理矢理挿入した場合は接触端子部が破損したり、挿入メディアが取り外せなくなったりします。
- データ損失につながりますので再生中はメディアを取り外さないでください。
- 万が一故障や不具合が発生し、接続メディアのデータ損失や機会損失があった場合、その補償については弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 大容量の記録メディアやサイズの大きなファイルを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

再生可能なファイル

- ファイルの保存方法、作成状況によっては読み込めないものもあります。接続する全てのメディアやファイルの動作を保証することはできません。また、大容量メディアや大きいサイズのデータは読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

［再生可能なファイル］

拡張子 .mp3 の音声データのみ

ファイル名に半角英数字以外の文字が使用されていると、正しく認識ができません。また、挿入メディア内に音声以外の写真や映像ファイル（拡張子 .jpg/.avi 等）が存在しても、再生するすることできません。挿入メディアに mp3 ファイル以外や不可視ファイルがあると思わぬ動作につながる場合がありますので、事前にパソコンで削除してお使いください。

電源供給に関する注意

- 電源ケーブルは十分注意し、適切に配線してください。特にケーブルを束ねて使用すると、本体に負荷がかかり故障の原因となります。配線が切れかかったケーブルは使用しないでください。ショートによる火災の原因になります。

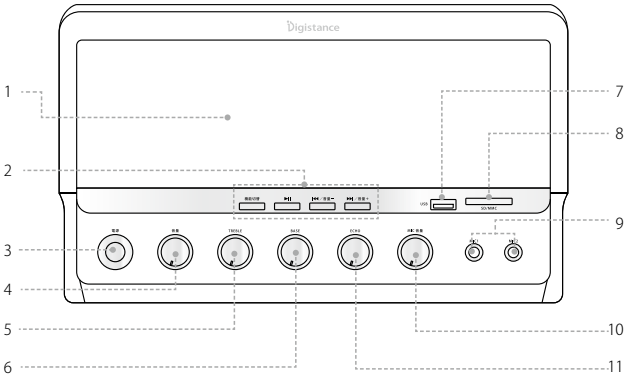
あらかじめご了承頂きたいこと

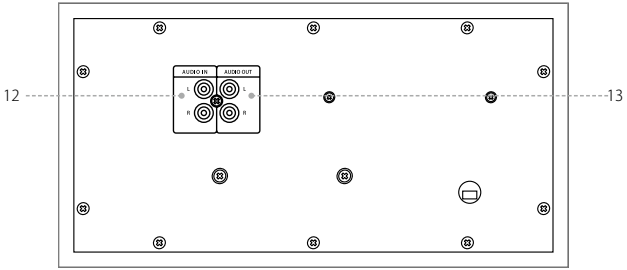
- 本書の内容、本製品の仕様・外観等は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきまして万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り等、お気づきの点がございましたら弊社サポートセンターまでご連絡ください（お問い合わせ先は付属の保証書をご覧ください）。
- 本書の一部または全部を無断で複製することを禁止いたします。また、個人としてご利用になる他は著作権法上、当社に無断での使用はできません。
- 本製品の使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害・逸失利益・第三者からのいかなる請求につきまして弊社では一切その責任を負えません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動から生じた故障や損傷に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
- 地震や雷の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他明らかに異常

な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。

- 故障、修理、その他の理由に起因する損害および逸失利益につきまして弊社では一切の責任を負えません。
- 保証書への購入日・購入店の記載の無い物や保証書に記載された内容に相違のある場合等、弊社では一切の責任を負えません。
- 本製品は一般家庭での使用を目的に製造されています。特に業務用（店舗展示用や長時間連続使用等）に使用された場合や、一般家庭内でも過度に長時間連続で使用された場合は保証期間内であっても弊社保証の対象外となります。
- 本製品は日本国内での使用を想定して製造されています。海外での使用はサポート及び保証の対象外とさせていただきます。

1. 各部名称





1-1. アンプ本体の機能と名称

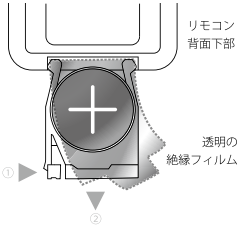
番号	名称	機能
1	ディスプレイ	電源がオンになっていると点灯します。
2	操作ボタン	左から順にご紹介します。「機能切替ボタン」：本体機能を切り替えます。／「再生一時停止ボタン」:挿入メディア内のデータを再生中に再生と一時停止を切り替えます。／「頭出し兼音量ボタン」挿入メディア内のデータを再生中に前後曲を頭出しします。また、長く押すことで音量の調節が可能です。
3	電源ボタン	押し込むことで電源がオンになります。
4	音量	ツマミを回すことで音量を調節します。
5	TREBLE	ツマミを回すことで高音域の音声出力を調節します。
6	BASS	ツマミを回すことで低音域の音声出力を調節します。
7	USB	USB メモリを挿入します。
8	SD/MMC スロット	SD/MMC メディアを挿入します。
9	MIC1/2	マイクを接続します。
10	MIC 音量	ツマミを回すことでマイクの音量を調節します。
11	ECHO	ツマミを回すことで反響音の強弱を調節します。
12	AUDIO IN	付属のオーディオケーブルを使ってデジタルオーディオプレーヤーや DVD プレーヤー等を接続します。
13	AUDIO OUT	付属の左右スピーカーを接続します。

操作ボタンの一部機能は本体に挿入したメディアの再生中に限り有効です。

1-2. リモコン電池のセットと各部機能

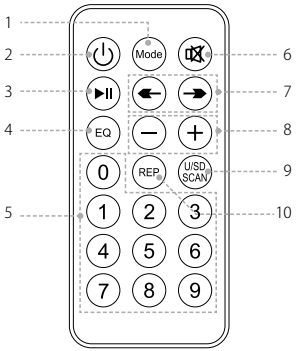
電池のセット

リモコン背面下部に電池ボックスが設けられています。①の▶方向に指で押しながら②の▼方向に引き抜くと電池ボックスが取り出されます。出荷時は透明の絶縁フィルムが挟んでありますので取り除いてください。表裏に注意して電池を載せ、電池ボックスを閉じてください。



製品に付属する電池は動作確認用となります。通常ご使用分は別途ご用意ください。使用する電池は CR2025 です。

各部機能



1.MODE
本体機能を切り替えます。

2. 電源
電源のオンとオフを切り替えます。

3. 再生／一時停止
音楽再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと再開されます。

4.EQ
音質を調節します。

5. 数字
番号によるトラック指定を行ないます。

6. 消音
消音と出音を切り替えます。

7. スキップ
前後トラックの頭出しを行ないます。

8. 音量
音量調節を行ないます。

9.U/SD SCAN
読み込みメディア（SD と USB）の切り替えを行ないます。

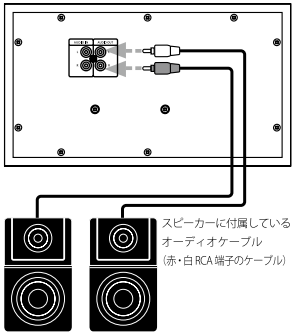
10.REP
繰り返し再生を行ないます。

操作ボタンの一部機能は本体に挿入したメディアの再生中に限り有効です。

2. 接続

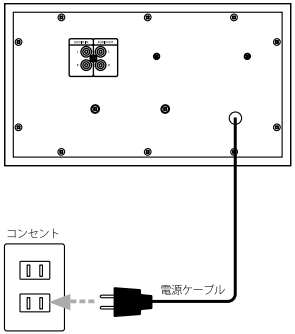
2-1. スピーカーの接続

本体（アンプ内蔵ウーファー）と左右スピーカーを接続します。本体背面の「AUDIO OUT」にスピーカー側の赤・白の RCA ピンを色を合わせて接続してください。接続時は「AUDIO OUT」と「AUDIO IN」を間違えないようにご注意ください。



2-2. 電源ケーブルの接続

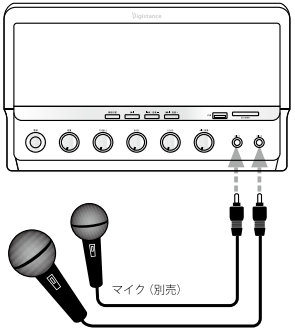
本体背面の電源ケーブルとコンセントを接続します。
接続が終えたら本体正面の電源ボタンを押し込み、電源をオンにしてください。



2-3. マイクの接続

マイクを使用する場合は本体正面の「MIC1 もしくは 2」に接続します。
本体前面の「MIC 音量」ツマミを回すことでスピーカーから出力されるマイク音量を調節することができます。
音量はツマミを左に回すことで小さく、右に回すことで大きくなります。

［注意］
マイクを抜き差しする時は必ず音量をゼロにしてください。

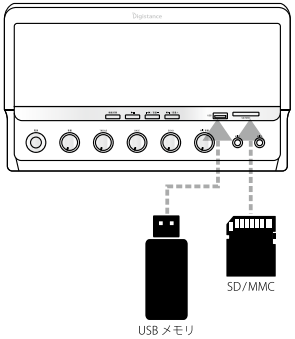


3. 挿入メディアの音楽を聴く

3-1. メディアの挿入

本体前面の「SD/MMC スロット」、もしくは「USB」に再生させたい音楽の入ったメディアを挿入します。
SD/MMC はカードの**ラベル面が下を向くように**、USB メモリは端子の向きに注意して挿入してください。

［注意］
挿入メディアの中に音楽ファイル（拡張子 .mp3）以外や不可視ファイルを入れないでください。



3-2. 本体機能の切り替え

本体の機能を切り替えます。本体前面の「機能切替」ボタンを押す毎に本体機能が切り替わります。画面表示等の合図はありませんので、ボタンを数回押して音声出力の有無により機能の切り替わりを確認してください。

［注意］
機能切替が適切に行なわれていないと意図した音声出力が得られませんのでご注意ください。

3-3. メディア再生中の操作

挿入メディアの中の音楽を再生している時は次の操作が可能です。

［音量調節］
「音量」ツマミを回すことで音量を調節することができます。右に回すと音量が大きく、左に回すと小さくなります。

［選曲］
「頭出しボタン ⏮ ⏭ 」を押すことで前後曲の頭出しが行なわれます。

［音質の調節］
「TREBLE」ツマミを回すことで高音域の、「BASS」ツマミを回すことで低音域の音声出力が調節されます。「ECHO」ツマミを回すことで音の反響度合いが調節されます。各々、ツマミを右に回すことで特定音域が強調され、左に回すことで特定音域が軽減されます。

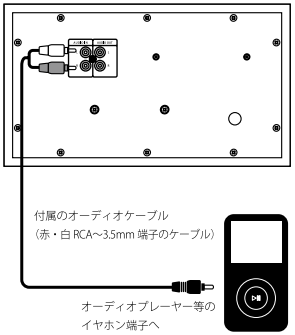
［終了］
再生を止める時は「電源ボタン」を押して電源をオフにする、あるいは本体前面の「再生／一時停止ボタン」を押して一時的に再生を止める、もしくは挿入メディアを本体から抜き取ってください。

4. 接続したオーディオプレーヤーの音楽を聴く

4-1. 外部機器の接続

ポータブルオーディオプレーヤー等を接続して本製品から音声出力を行なう場合の接続です。
付属のオーディオケーブル（黒色、3.5mm 端子のケーブル）を使って本体背面の「AUDIO IN」とポータブルオーディオプレーヤー等のイヤホン出力端子を接続します。

［注意］：オーディオケーブルの接続時は本体の音量をゼロにした状態で行なってください。



4-2. 本体機能の切り替え

本体の機能を切り替えます。本体前面の「機能切替」ボタンを押す毎に本体機能が切り替わります。画面表示等の合図はありませんので、ボタンを数回押して音声出力の有無により機能の切り替わりを確認してください。

4-3. 音声出力中の操作

本製品側では音声出力に関する音量調節、TREBLE、BASS、ECHO のみ操作が可能です。上記操作に関しては「3-3. メディア再生中の操作（P9）」をご参照ください。各種再生に関する操作はポータブルオーディオプレーヤー等の接続機器側で行なってください。

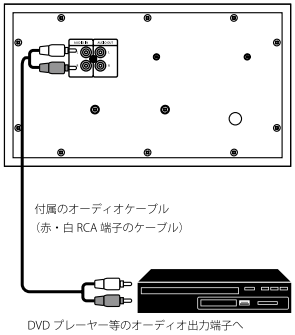
［注意］：接続機器側で小音または消音設定がされている場合は本スピーカーから音声が出力されません。

5.DVD プレーヤー等の音声を出力する

5-1. 外部機器の接続

DVD プレーヤー等を接続して本製品から音声出力を行なう場合の接続です。
付属のオーディオケーブル（赤・白色、RCA 端子のケーブル）を使って本体背面の「AUDIO IN」と DVD プレーヤー等の音声出力端子を接続します。

［注意］：オーディオケーブルの接続時は本体の音量をゼロにした状態で行なってください。



5-2. 本体機能の切り替え

本体の機能を切り替えます。本体前面の「機能切替」ボタンを押す毎に本体機能が切り替わります。画面表示等の合図はありませんので、ボタンを数回押して音声出力の有無により機能の切り替わりを確認してください。

5-3. 音声出力中の操作

本製品側では音声出力に関する音量調節、TREBLE、BASS、ECHO のみ操作が可能です。上記操作に関しては「3-3. メディア再生中の操作（P9）」をご参照ください。各種再生に関する操作はポータブルオーディオプレーヤー等の接続機器側で行なってください。

［注意］：接続機器側で小音または消音設定がされている場合は本スピーカーから音声が出力されません。

6. 故障かな？　と思ったら

正常に動作しない場合はこちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因とその解決方法を確認することができます。巻頭に記載の注意書き、及び本項をお読みになっても問題が解決されない場合は保証書の内容をご確認の上で、弊社までご連絡ください。

電源が ON にならない

- 本体前面の電源スイッチが押し込まれ、電源が ON になっているか、また本体前面のディスプレイ部が点灯しているかを確認してください。
- 電源ケーブルの接続を見直してください。

リモコンが効かない

- 製品に付属しているリモコン用の電池は動作確認用のため、すぐにバッテリー切れになる場合があります。通常ご使用になる分は別途ご用意ください。本製品で使用する電池は CR2025 です。
- 本体とリモコンの間に距離、もしくは遮蔽物があると操作が届きません。リモコン操作は本体正面を向けて行なってください。

操作が効かない

- 本体前面の「機能切替ボタン」を押して、希望の操作に合わせて本体機能が切り替えられているかを確認してください。
- オーディオケーブルを使って外部機器を接続している場合、再生に関する各種操作は主に接続機器側で行ないます。

音が出ない

- スピーカー側の接続ケーブルが本体の「AUDIO OUT」端子に接続されているかを確認してください。
- SD/MMC や USB メモリを挿入している場合は挿入向きが正しいかを確認してください。また、外部機器を接続している場合はケーブル接続が適切かを確認してください。
- 本体前面の「機能切替」ツマミが、希望の操作に合わせて適切に切り替えられているかを確認してください。
- 本体の「音量」ツマミが適切に設定されているかを確認してください。また、「AUDIO IN 」端子に外部機器を接続して使用している場合は、外部機器側の音量調節が適切かを確認してください。
- SD/MMC、及び USB メモリを再生させる時はメディアが適切な向きで挿入されているかを確認してください。
- メディア挿入により本製品で再生できるのは拡張子が .mp3 の音声ファイルに限ります。

音が聴き取り難い

- 本体前面の「音量」ツマミで音量調節を、「TREBLE」及び「BASS」ツマミで音域毎の出力バランスを、「ECHO」ツマミで音の反響度合いを見直してください。

その他

- 挿入メディアの中に音声データ（拡張子 .mp3）以外は入れないでください。誤動作や再生不具合を招く恐れがあります。

製品仕様

製品名	2.1ch　スピーカーセット
型番	DS-HT116BK
本体カラー	ゴールド／ブラック
本体サイズ	・アンプ内蔵ウーファー 300 × 172 × 305mm（横幅×高さ×厚さ）、約 4.71kg ・スピーカー（1 個あたり） 120 × 220 × 134mm（横幅×高さ×厚さ）、約 0.83kg
電源	AC100V、50 / 60Hz
消費電力	45W ／待機時：10W
音声出力	出力：ウーファー 15W、スピーカー 7.5W 周波数特性：10Hz ～ 18KHz
再生ファイル	音声ファイルのみ再生可（拡張子 .mp3）
入出力端子	・入力:SD/MMC、USB、オーディオ入力× 1（赤 / 白 RCA ピンジャック） ・出力:オーディオ出力× 1（スピーカー接続用赤・白 RCA ピンジャック× 1）
動作環境	温度：5 ～ 35℃
製造国	中国

お問い合わせ

製造元：株式会社ゾックス
〒 231-0033　神奈川県横浜市中区長者町 3-8-13　TK 関内プラザ 304
電話：0120 - 602 - 302　　ホームページ：http://www.zox-net.com
お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～ 17 時
※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。